

温泉用ボンド 施工上の手引き

＜注意＞施工にあたりこちらを必ず読んで標準施工方法に従って施工して下さい。

＜配合比＞（重量比）

- ・主剤(エポアルファー) 1 6 （粘度がある為容器に残りやすいです。すべて出し切って下さい。）
- ・硬化剤(エポアルファー) 1 9 （よく振ってからご使用ください。）
- ・パウダー 6 5

※ホワイト・ライトグレー・ダークグレー・スーパーブラックの場合は上記3点+専用顔料を入れます。

※可使時間内に使用できるだけ混練するようにして下さい。少量混練する場合は必ず上記配合に準じて計量器を使用して配合して下さい。重量比になりますので計量カップなどの容量比で量らないでください。配合比がずれると硬化不良などの原因になります。

※可使時間を過ぎた製品に水や他社品などを加え、可使時間の延長を行わないで下さい。硬化不良などの原因になります。

※主剤・硬化剤は容器に残りやすいのでしっかりと出し切って下さい。出し切らないと練り上がりが固くなります。また硬化不良の原因にもなります。

＜配合方法＞

1. 練樽、練バケツ等に主剤、硬化剤を入れハンドミキサーなどを使用し、液体がムラなく白くなるまで良く混合攪拌します。
2. ホワイト・ライトグレー・ダークグレー・スーパーブラックは、1で混合攪拌した混合液に専用顔料を加え混合攪拌します。※グレーは顔料がパウダーに含まれています。
3. 上記の混合攪拌液に、パウダーを半量または半量以下入れ、混合攪拌を行います。パウダーがしっかりと混ざったタイミングでさらにパウダーを入れ、混合攪拌を行います。パウダーを一度に入れる量は半量または半量以下にして2回以上に分けて混合攪拌して下さい。

可使時間 夏期約20分 冬期約40分

養生硬化時間 24時間以上（浴槽内などの水に浸される箇所は48時間以上）

可使時間・硬化時間は作業環境の温度により大きく影響されます。環境温度が高い程早く硬化します。

※混合攪拌不足は硬化不良の原因になりますので、十分に混合攪拌を行って下さい。

※パウダーは一度に多く入れてしまうと練り上がりが固くなり、使用できなくなることがあります。

<使用方法>

1. 下地は平滑面で、油脂・ほこり・ゴミ等を取り除きます。
2. <配合方法>で記載した通りに材料を混合攪拌します。
3. コテでボンドを均一に塗布した後、クシ目コテでクシ目を立てます。
4. ボンド塗布後、直ちに仕上げ材(タイル・石材等)を張ります。

※1回の塗厚は10ミリ以内とし鏝塗施工、付けトロ施工にも使用できます。

※タイルがずれる場合は、コテ塗後数分放置して張り付けるとずれにくくなります。

5. 仕上げ材裏面にボンドがしっかりと付着するように圧着します。
※使用した道具類は、硬化前は水洗いで清掃できます。
6. 目地詰めする場合は、ボンドの硬化を確認後(張り付け後、夏季 16 時間以降 冬季 32 時間以降)行います。

<使用上の注意>

- ・吸水率の高い石材・タイル等は染み出しや黄変する可能性があります。事前にテストしてからご使用下さい。
- ・温度が高い箇所での施工や直射日光や風の当たる箇所での施工において、可使時間が極端に短くなる場合があります。状況に応じて一回の張り付け範囲を少なくするなどして下さい。
- ・可使時間が短くなるのでボンドは直射日光に当たらないよう使用直前まで段ボールに入れておいて下さい。
- ・油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避け、施工は5～35℃以内の環境温度で行って下さい。
- ・主剤・硬化剤・パウダー・専用顔料以外は絶対に入れないで下さい。
- ・廃棄については、環境基準に沿って処理して下さい。
- ・肌に触れると肌荒れする場合があります。保護手袋等で安全を期して下さい。
- ・保管は、5～35℃の温度で子供の手の届かない、水濡れしない冷暗所で保管して下さい。